



新年を迎えて
鈴森会会長
石川 喜一郎



新年おめでとうござ
います。皆様には日頃の
節制もよろしく御清栄
のこととお慶び申し上
げます。昨年は新型イン
フルエンザが世界的に
猛威をふるい、その余波
が我が国にも波及し、糖
尿病はじめ重症疾患や
合併症をもつ高齢者は、
その予防に大へん神経
を使いましたが、先生方
がいち早く手を打って
頂き、十月中旬頃にはワ
クチンを接種出来、安心
して日常生活が送れて、
感謝致した次第です。当
初計画された、鈴森会の
行事も皆様の御協力に
より順調に推移し、また
例年楽しみにされてい
た、旅行会も天候に恵ま
れ盛會裡に終了し、この

上もない喜びでありま
した。私達は一年毎に加
齢し気力はあるものの、
体力だけは正直、減退へ
の、一途を歩んで居りま
す。今年も気分を一新し
て初心に返り規則正し
い生活を身につけ、鈴森
会の教育の場を通じて
会員同志励まし合い、健
康な人と変わらな
い日々を送りたいと念願
する次第です。会の益々
の発展と皆様の御健勝
を心より祈念申し上げ
ます。



お知らせ
鈴森会では、各種の行
事を行ってまいります。皆
様のご参加をお待ちし
ております。尚、鈴森会
の入会は随時募集して
おります。詳細につきま
しては、受付までお尋ね
下さい。



鈴森会 会報
発行所
千代田区神田岩本町
一番地 岩本ビル内
鈴森内科事務局
電話 (3253) 7081
発行者 石川 喜一郎
編集発行人 斉藤 伸松

糖尿病診療における
高血圧管理の重要性

はじめに

糖尿病人口は増大し、
いまや我国で2千万人
(糖尿病患者800万
人、予備群1200万
人)といわれ、国家的課
題となっている。高血圧
症、脂質異常症とともに
メタボリックシンドロ
ームとしても注目され
ていて、とくに糖尿病診
療上、血圧管理は重要で
す。また、糖尿病そのも
の診断と治療も日々
進歩しており、パラダイ
ムシフトもおこってい
る現状である。代表的事
例をあげれば、診断上は
HbA1Cの値が6.5%
以上から6.1%以上
に診断基準が改定さ
れようとしており、治療
上はインクレチン製剤
である、シタグリプチン
(薬品名：ジャヌビア、
グラクティブ)が発売さ
れ作用機序として膵β
細胞からインスリンの
分泌を促進し、高血糖時
のみ作用するため、低血

糖をおこさず、体重も増
加しないといわれ、新た
な治療薬として注目を
されている。

血圧管理の実際

高血圧は脳血管疾患、
虚血性心疾患(狭心症、
心筋梗塞)、腎疾患など
血管障害を引きおこし、
重大な障害を残し、最近
は、合併疾患も増大傾向
を示している。なにより
も、厳格な血圧管理が重
要であり、糖尿病慢性合
併症の進展阻止では重
要である。しかし、合併
症を予防し、進行を防止
するためには、より一層
の血圧管理とともに血
糖コントロール、脂質異
常の改善を同時に行う
必要があり、結果的には
血管病を予防すること
にもつながる。

高血圧症の合併の現状

糖尿病患者では60%
〜70%に高血圧症を
合併しており、その割合
は統計的には一般国民
の2倍、当クリニクで
は3倍の頻度である。糖
尿病の96%が2型糖
尿病であるが、その発症
以前にすでに動脈硬化
症を合併しており、とく
に腎症があれば、殆ど高
血圧症を合併している
のが

現状である。さらに、糖
尿病患者の心血管病変
の70〜80%が高血
圧症を合併しており、糖
尿病患者の冠動脈疾患、
脳卒中などの発症率は
きわめて高い。

糖尿病患者の血圧管理
食塩と腎機能

糖尿病患者は塩分摂
取の制限は重要であり、
理由として塩分摂取に
対する感受性が高まっ
ているので血圧上昇が
おこりやすくなる。糖尿
病腎症の場合は高血圧
と腎障害の悪循環がお
こり、腎症が進行すると
Na排泄障害がおこり、
体液量が増大する。

自律神経障害と高血圧

糖尿病が進行すると
自律神経調節がうまく
いかず、起立性低血圧が
おこることがあり、動作
時の体動には充分注意
する必要がある。

高血圧症の治療

高血圧症の治療は糖
尿病の合併する種々の
血管障害の抑制に有効
であることは確認され
ている。生活習慣の改善
とともに食塩制限と体重
コントロール(肥満防
止)は勿論のこと、降圧
薬の選択は重要であり、
利尿薬にはじまり、アン
ジオテンシンII受容体
拮抗薬(ARB)、アン
ジオテンシン変換酵素
(ACE)阻害薬やCa
拮抗薬と多種類にわた
っている。糖尿病患者に
おける降圧目標は130/
80mmHg未満に
設定し、1日尿蛋白量
(排泄量)1gを超えた
場合の腎症ではさらに
120/75mmHg以
下に下げる必要がある。

また、どれを選択するか
は文献的にも決まってい
ない。一般的には、イ
ンスリン抵抗性を改善
し、脂質代謝にも影響を
与えないRA系降圧薬
やCa拮抗薬が推奨さ
れているが、目標とする
血圧が満たされていれ
ばどの薬剤を選択して
も良いのではないかと
いわれている。

糖尿病患者における
厳格な血圧管理目標

従来から脳卒中にお
ける血圧管理の重要性
は指摘されていたが糖
尿病患者においても血
圧の重要性は中心課題
となりつつある。具体的
には、血圧測定と体重測
定を自ら起床時に行い
記録し、外来治療に役立
てるようにする。日常生
活において食塩制限を
心がける。また、日常生
活の中で歩数計を利用
した運動に心掛けるこ
とも大切です。自律神経
障害、腎障害、心不全を
合併すると夜間高血圧
がみられることもあり、
時々夜間血圧測定も行
い治療に役立てまし
ょう。

(重本 幸子)

☆☆☆☆
インフルエンザ予防は、
ワクチン接種が効果的
です。インフルエンザワ
クチンは積極的に受け
て下さい。

Good Chemistry for Tomorrow 薬の未来のために。

いのちの未来のために。
医薬品の創製を通じて、世界の人々の健康に貢献します。
私たちは、未来の医療に貢献する新薬の研究開発にまっすぐ取り組むとともに、安全・安心な医薬品の提供を通じ、
ひとりひとりの健康な未来をつくります。田辺三菱製薬は、これからも挑戦を続けます。
田辺三菱製薬
www.mt-pharma.co.jp

病気と闘う人たちの光となるために。

人間の遺伝子情報と病気のメカニズムの解明によるゲノム創薬。
最先端の技術と揺るぎない情熱。
アステラス製薬は、可能な限りのスピードで
新薬の開発に取り組んでいきます。
日本発、医療用医薬品の世界企業へ
www.astellas.com/jp/